

2012年9月14日

PETボトルリサイクル推進協議会
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
広報・啓発専門委員会

2012年PETボトル・プラスチック容器包装リサイクル 『第2回市民・自治体・事業者の意見交換会 in さっぽろ』報告

札幌市 中係長 取組報告風景

開催概要：自治体・市民・事業者の各取組の報告を行い、相互理解を深め、リサイクル・3Rに関する疑問や課題を出し合い、より良いリサイクル・3Rのあり方や容器包装の環境配慮設計について討論しました。



日時：2012年9月4日

開催場所：札幌市男女共同参画センター大研修室

参加者：市民関係者5名

自治体関係者3名 事業者14名 計22名

主催者：PETボトルリサイクル推進協議会

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

北海道容器包装簡素化を進める連絡会 石塚氏 報告風景



当日のスケジュール：

時間	内容
12:30~12:40	主催者挨拶 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 会長 小林三喜雄
12:40~12:55	自治体の取組報告 -容器包装の分別収集について- 札幌市環境局環境事業部ごみ減量推進課資源化推進係長 中克尋氏
12:55~13:15	市民の取組報告 -容器包装の簡素化を進める活動- 北海道容器包装の簡素化を進める連絡会 世話人事務局 石塚祐江氏
13:15~13:40 13:40~14:00	事業者の取組報告 -リサイクルと環境配慮設計に関する課題- PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 近藤方人 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀
14:00~14:15	***** 休憩 *****
14:15~16:20	意見交換 ： 『リサイクル・3R・容器包装の環境配慮設計』について PETボトルやプラスチック製容器包装； 何が一番の関心事で疑問に思うことは何か？
16:20~16:25	まとめ報告
16:25~16:30	閉会挨拶

『リサイクル・3R・容器包装の環境配慮設計について』

討論内容

◆下線部分：「報告内容についての疑問・質問・話題にしたいこと」
として参加者が用紙に記載した内容



《識別表示について》

◆プラマークについて、もう少し大きく表示できないか？(役)

- ・例) PET ボトルにあるプラマークはお年寄りには見にくい。(役)
- ・上下天地 6mm以上で表示することになっている。表示の大きさは(商品の大きさによって規制される)表示スペース、栄養表示等その他の(法的義務のある)表示との兼ね合い、商品デザインの都合との兼ね合いによって限定され難しい。市民の声が大であればなんとかしなくてはならないと思う。(事)
- ・プラの表示は何のためにしているのかを知らない人も多い。(民)

《材質表示と分別について》

◆プラスチック製容器包装や PET ボトルの識別マーク、一括表示、材質表示等についてどんな点を改善すべきか？(事)

- ・法定表示ではないが、情報開示として PP(ホ[○]リ[○]ピ[○]レ[○])・PE(ホ[○]リエ[○]レ[○])・PA(ホ[○]リア[○]ミ[○]ト[○]ニ[○]イ[○]ロ[○])等の材質表示をしているが、消費者からみると判りにくい。今後考えられるべき課題ではないか？(事)
- ・資源化の道がちゃんとできていないのに、(識別表示・分別排出・分別収集の)意味はあるのか。(民)
- ・マークが付いていても、汚れの付いているものは燃えるごみにしており、資源物になるものに表示がある訳でもない。資源になる物のみ表示すべき(民)
- ・PP/PE/PS で分別を試みて考えたが、回収コストや(材料リサイクルで)資源化できるものを分かる様にすべき。それ以外をケミカルリサイクルにできるものとして表示をして欲しい。自治体・事業者が協力していくべき。(民)
- ・プラの材質表示は元々情報公開として、塩ビ(PVC)を見分けるために始まった。(事)
- ・材質表示はあまり見ていない。PET ボトルかプラか分別が分かれば良い。(民)
- ・新しい分別の仕方として、PE/PPの素材表示で分別することを市民の方が大変に思わないならば、リサイクルの可能性も広がる。市民にどこまで(分別種類の増加を)求められるか？(役)
- ・またこのような方法で実際に分別している他の自治体はあるのか？(役)・・・実際には無い。(事)
- ・材質ごとに分ける分別方法は、社会コストを含めて考えなければならないが、合理的なリサイクルに繋がる大切な事。(事)

《プラスチックによる分別について》

◆事業者の報告には共感できるものがたくさんある。私も表示を見ながら素材別分別を試みたが、市民として資源化をすすめるための“分別”は提案しきれない。現状の資源物の有効なリサイクルの方策をさぐっていききたい。(民)

- ・汚れていないプラ製品をリサイクルする方が効率的。市民が混乱する元である容器包装プラだけではなく(製品プラを含めた)プラ全体でリサイクルすべき。プラスチック(リサイクル)法はないのか？(民)
- ・食品容器はすぐ排出され、機能を付加すればするほどリサイクルには不適になる。一方(製品)プラは使用期間が長く経年劣化が進んでおり、リサイクルに不適であり、有価になる可能性は低い。(事)
- ・製品プラで例えばボールペンの場合なら、残インキをどうするか等一括リサイクルには無理がある。(事)

《PETボトル軽量化の影響について》

◆PETボトルの軽量化について、輸送コスト、環境(CO2)に良いと思うが、リサイクルは難しい。⇒今

後どうなる？(役)

- ・PETボトルの軽量化はかなり進んでいる。(事)
- ・PETボトルに残る不正開封リングは製造工程で(水洗)比重分離できるので問題なし。(事)
- ・PETボトル自体の薄肉化により、軽いラベルを比重分離できない問題が出てきたが、風力選別の調節等により問題はなく、リデュース推進のため、今後も進める。(事)

《B to B(ボトル to ボトル)の今後の可能性について》

◆B to Bの取り組みは可能性が高いのかどうか？(民)

- ・BからBは、繊維へのリサイクルよりエネルギーを消費するのでベストとは言えない。しかし(元と同じものに戻す)水平リサイクルは自然な考え方であり価値がある。又リサイクル繊維の国内市場(リサイクル繊維を原料として使用する工場)は海外に移転してしまうかもしれないが、ボトルの国内需要はなくなることはなく、PET資源の国内循環を確実にすることが出来るので今後も進展していく。(事)

《ごみ有料化について》

◆札幌市のルール変更後、家族ごみ量が大きく減った様に見えるグラフになっているが、有料ごみ導入の特需ではないが、20年7月～21年6月は普段より数倍多くごみが排出され、その反動が21年7月～大きく減ったと考えられる。グラフにするなら、20年1月～12月、22年1月～12月を比べたらどんな数字なのか？(民)

- ・平成21年7月に導入した「新ごみルール(有料化)」で燃やせるゴミが36%低減したと言うが「ごみ特需」で適正な評価がされていない。(有料化直前に一斉に捨てて、有料化後のごみが減ること)(民)
- ・7月に導入してからの追跡をしており、適正に評価していると考え(役)

◆札幌市ごみ有料化2円/ℓの算出根拠は？ 一般的他市町村に比べてかなり高額ではないか？

(事) (400円/40ℓ×5枚)

- ・2円/ℓで算出している訳ではない。算出根拠は後日報告する。(役)
- ・手元にデータを用意していないが、他都市と比較しても高くないと思う。市の収集指定袋の売却益を事業費に算入する方法で有料化している。(役)

◆資源物の有料回収(ごみ袋・資源集)についてどう考えるか(事)

◆ごみ有料化の袋は全てのものが対象か？(事)

- ・資源物の有料化は考えていない。(役)

《ノーレジ袋運動について》

◆ノーレジ袋の働きかけでコンビニへの展開は？札幌全体の何%がノーレジ化されたか？(事)

- ・働きかけたが、スーパーとは客層が違うとのことで協定不参加だった。しかしポイントやポスターなどスーパー各社が工夫して取組んだ行動から良い影響が広がった。マイバッグ持参が増えた。(民)
- ・流通は市民に近いところでノーレジ袋運動を含めたアピール活動をしている。レジ袋配布中止でスーパーはつぶれると思っていたが、90%はマイバッグに協力してくれた。メーカーはPL法の関係もあり積極的なアピールを控えていることを知って欲しい。この点が噛み合わないので(市民から)ばら売り、量り売りという現実的でない提案も出てくる。パッケージがどこまで必要かざっくりばらんに話し合うことが必要。必要でないものは「作らない」「売らない」「買わない」ということを深掘りする必要がある。経済的に循環しないと長続きしない。補助金がないと回らないようでは駄目である。ただ、メーカーが様々な取り組みをされていることは承知しており、市民より適正に評価される場づくりをしたかったのだと思う。余計な容器包装をこの様な場で伝えていただくことで減らすことができる。(流通)
- ・メーカー努力は「3R事例集」に掲載している。(事)

《簡素化商品について》

◆簡素化商品の購買意識について、メーカーの売上動向調査をされたか？（事）

- ・簡素化大賞を受賞した物品の売上は伸びているか？（事）
- ・商品を応援（販売促進）するものではないのでフォローはしていないが、これを機会に他社へ聞いてみる。簡素化大賞の受賞は、購買行動に影響を与えていると感じる。「花王さんは大賞受賞に関して独自ポスターを作成し、キリンビバレッジは業界紙に掲載され、社内モチベーションがアップしたとの声やポスター追加依頼があった。（民）
- ・売上への影響は把握しにくい。実際のところは大きく貢献しているわけではない。（事）

《複合材について》

◆プラ容器を回収して、リサイクルすることの大変さがよくわった。雑多な種類の混合していることで難しい。⇒発電用に再利用も必要なことなのかと思った。（民）

◆容器包装の減量化と複合素材について強化策としてリサイクルの際のジレンマが有ると思うが・・・。（民）

- ・PEでも様々なPEがあり、同様のリサイクルはできない。リサイクル先のニーズさえあればどんなものでもリサイクルされる。（事）
- ・軽量化するほど複合素材を使用することになり、リサイクルに適さないという矛盾を孕む。（事）
- ・複合材は、光や酸化等のバリア素材として多機能であり、商品を保護している。バリア性を持たせた容器はPE単一では分厚く重くコスト高だが、複合材では薄く軽く低コストにできる。これらは、エネルギーリカバリーとしても価値がある。無駄にはしない。（事）
- ・缶・びん・鉄・アルミの素材容器でも、実は単一素材ではなく、腐食防止や薄肉軽量化のためにコーティングしている。ただし材料リサイクルの過程の1,500℃で元に戻る。紙もPEコーティング。（事）

《リサイクルの現状》

◆札幌市現状をお聞きすると収集量的には良い効果をあげている様だが、集められたものの（プラ、ペットなど）どの様に処理されているのか？（民）

◆集められている物の状態の問題点は何か？市民（生活者）として気をつけることは何か？・・・（民）

- ・プラはごみになっても「燃料」としての高いポテンシャルを持つ資源であることを重視すべき（事）
- ・循環型社会のもとで、現在の容り入れ札制度では距離は考慮されず、無駄なエネルギーを使っている部分もある。リサイクル事業者は安定した資源化のエネルギー又は材料の確保をすることも大切で、地産地消がプラでも理想的。入札で中国などに行ってしまうのはおかしい。材料やエネルギーとして利用される仕組み作りを見直さないといけない。（民）
- ・地産地消を進めている真面目な自治体が容りの仕組みには入らず独自処理をしていることがこの制度の矛盾を示している（事）
- ・地産地消で自治体が独自処理でうまくっている例として、セメント燃料化や、RPF化がある。（事）
- ・北海道ではRPFは自治体費用と比べると安いので問題である。（役）
- ・今後のエネルギー政策の見直しやゴミ発電の奨励も考えるべきか。（事）
- ・リサイクルできても電力使用量が莫大であればそのリサイクルは改善すべき。（役）
- ・ケミカルリサイクルもプラが本来もっている石油エネルギー源としての活用と見ればよい。（事）
- ・自治体ではなく、メーカーの責任からスタートするべきで、メーカーが回収する仕組みが必要。（民）
- ・費用負担を付け替えるだけの単純な話ではない。環境負荷・効率を考えた時、どこが一番効率で良いかを考える必要がある。（事）

《容器包装の軽量化の限界と今後の取り組み》

- ◆容器包装材の意味・目的は良く分かったが、専門家から見て過剰と思われる物はないか？（民）
- ◆容器包装の簡素化はどこまで可能か？（現在は数%~20%程度と思うが・・・）（民）
- ◆今後3R(リデュース・リユース・リサイクル)の中でもリデュース・リユースが強化されていくことが必要と思うが、事業者の方々等の御努力もあり、「これ以上、削減する余地はない」といった声も聞こえてくる。今後、どのような努力が可能と思われるか。（役）
- ◆容器包装簡素化への事業者の努力を正しく理解頂き有難く思う。事業者の情報開示が足りませんね！何か良いアドバイスをいただきたい。（事）
 - ・リデュースは自主行動計画で取り組み、目標を上回る成果を出してきた。（事）
 - ・市民アンケートでは、菓子の簡素化には抵抗が強かった。「湿気らないし、分ける時個包装が良い」との意見が過半数有り、個装を整列させるトレイは不要、ストッキングでは袋は不要との結果が出た。物によって必要・不要がある。無駄を省くことが第一歩。（民）
 - ・是非ともアンケート結果を開示して欲しい(事) ⇒ 了解(民)
 - ・削減努力している事業者にもっと自慢して欲しい。（民）
 - ・（消費者が）思っていることと買うことは違う。TPOがある。（同じ中身でも必要・不要な時・ところ・場合がある）あまり削減してもいいものではなく、包装は極めて重要なもので、一概に減らせばいいというものでもない。無駄は駄目。色々考えれば、新しい価値観作りができるのではないか。「減装」を選ぶ消費者はいるので、メーカーはそこへアピールをして欲しい。（民）
 - ・自家用・贈答用等の包装を分けるなど気づきが必要。消費者に渡る前に必要なパッケージもあるが理解が不足している。リンゴ4個パックは味がボケないようにする為であり、飴玉の個装も湿気でベトベトになって食べられなくなるといった無駄をそれぞれ防いでいる。こうしたことに気づけば落としどころが明確になり、納得性も高まる。（流）
 - ・軽量化は皆賛成でしょうが、素材メーカーは大変なのではないか。（民）
 - ・容り法の役割・費用分担（の見直し議論にあたって）、自治体に負担させるのは酷、メーカーに負担させるのも酷、と言って流通の責任にしないでください。消費税も外税に戻して欲しい。この先人口は減り、スーパーも減っていく。どこかに無理がかかるということの無いようにお願いしたい。（流）
 - ・リサイクルの負担は平等にお願いしたい。（事）
 - ・容器包装の軽量化・簡素化は原料(樹脂)メーカーが(売り上げが減るので)抵抗が大きいのか？だから軽量化・簡素化が進まなかったのか？（役）
 - ・素材メーカーの思惑ではない。事業者は見えない努力をしており、容器包装には意味がある。（事）
 - ・製造事業者としては、今後もまだ軽量化できる。しかし軽量化により、物流の際に変形するなどの例が有る。日本では海外と異なり消費者がパッケージのつぶれ等に因り購入しない。中身には全く問題がない。しかし許容されない。（クレームの大多数がこの例（流））このようなことを許容していただければ軽量化できるがいかがか？（事）
 - ・流通はメーカーに損耗率を認めるようにした。（そうしないと薄肉化・簡素化が進まない）シリアルでは外箱を廃止した。（袋だけでは破損しやすく、中身も砕けやすいが）メーカー・流通・消費者の三位一体で進めていきたい。（事）
 - ・現状では缶が凹んでいても買う人は10~20人に1人。お店・メーカーが（凹んでいても安全・安心であるという）情報を発信して欲しい。消費者だけに求めないで欲しい。（民）

《リサイクルの在り方》

- ◆現状の資源物の有効なリサイクルの方策をさぐっていききたい。（民）

- ◆プラ容器を回収して、雑多な種類が混合していることでリサイクルすることが難しいとよくわった。⇒発電用に再利用も必要なことなのかと思った。(民)
- ◆現在、省電がキーワードとなっているが、プラスチック全体の省電について(民)
- ◆コスト高になっても、環境に配慮するよう、リサイクルを進めるべきと考えているのか？その点素直なご意見を伺いたい。(役)
 - ・容器包装リサイクル法自体が国民から遊離している。情報が伝わっていない。市民も意味が分かっているればやる。資源化やゴミを減らすということについて皆関心は持っている。(民)
 - ・集団回収は有価ならできる。市民・民間でできること以外のコストに合わないものは税金でやるべきだが、自治体に押し付けることは反対。現在の資源化の方策は、有価物になるものは民間の扱いで、有価物にならない物が自治体の処理対象となっている。その点を分かり易く伝えて欲しい。(民)
 - ・収集ステーションから先がどうなっているか、関心を持ちにくい。(民)
 - ・3R全国ネットの市民案は、事業者を含めて噛み合わせて作るべきだが、メーカーの参画が欠けている。リサイクルについての市民案はこれから纏める。(民)
 - ・材質ごとの分別はよりコストがかかり、市民の負担が増大すると考えられる。市民としての負担はどれくらいあると感じておられるか知りたい。(役)
 - ・資源化できない物までリサイクルとして分別させているのではないか？(民)
 - ・有価物にすることは、相当細かく分別しても難しい。(事)
 - ・エネルギー源、化学原料とするケミカルリサイクルでは評価が異なる。(事)
 - ・分ければ資源だが、元に戻る訳ではない。(事)
 - ・PET ボトルとPS トレイのリサイクルは経済的(に合理的)だが、リサイクルコストを内部化していないから進まないのではないか？(民)
 - ・白色発泡トレイでは、容リ法回収は700ト/年であるが、メーカー回収は1万5千ト/年ある。うまく集めるルート(スーパーへの納品の帰り便で回収)があるので成り立っている。(事)
 - ・PET ボトルや同じ製造工場内のPS 白色トレイは、同じ品質でリサイクルできるが、汚れた再生プラのニーズが無い。新しいプラよりもコストが高くなる。その辺を理解していただき、どういうリサイクルが良いのか考えていただきたい。(事)
 - ・樹脂メーカーの立場からお話すると、一口にPEと言ってもその種類は多岐にわたり、少しでも違うと元に戻すことはできない。工程内ロスと同材質なので別だが、回収PEの材料リサイクルは下水処理と同じ位エネルギーとコストがかかる。宇宙船の中であればどんなにコストがかかっても元に再生しなければならぬが、普通はそうではない。バージン樹脂は150円~200円/kg程度であるが、リサイクルPEはもっとコストをかけても価値の低いものしか得られない。
 - ・プラの利便性向上がリサイクル適正に矛盾することは分かった。素材別分別コストと手間暇は協力できる。(役)
 - ・リサイクルと再資源化の定義が曖昧で、プラの特性が理解されないまま容リ法制化されてしまった。物の物性からみたリサイクルを考えたらいいのではないか。(事)
 - ・貴重なご意見をありがとうございます。プラは問題が沢山有り、行政だけでは解決できないので、皆様の力を借りたい。プラだけでなく紙もガラスも全て検証が必要。震災・原発事故後では、電気の使用(削減)という視点は大切である。(役)
 - ・今日の話は単にごみではない。未来・将来のために(事業者・流通・自治体と)連携していきたい。(民)
 - ・これを機会に今後も意見交換していきたい。(事)

以上